

平成27年11月25日
公益社団法人 大阪自然環境保全協会

自然体験イベント事故情報

事故名	オオスズメバチに刺される	被災者	年齢 60歳台	性別 女性
事故状況	発生日時 平成27年11月15日(日)午前10時55分頃			
	発生場所 <input type="checkbox"/> 公園・里山・海・川・溪谷・その他()			
	<p>事故状況(何を、どのように、どうなった)</p> <p>スタッフ7名、参加者5名で森の中を観察しているときに、先を歩いていたスタッフ1名に続いて、参加者の子ども1名がバタバタと足音を立てて階段を上っていったところ、オオスズメバチが7~8匹が飛び出てきた。</p> <p>すぐ側にはスタッフ2名がいたが、残りの参加者は後方にいたので、先にいたスタッフに子どもと一緒にそのまま前を進むように指示し、残りの参加者にはもと来た道に戻るよう伝えた。しかし、すぐ側にいたスタッフ2名が戻る時に、そのうちの1名がオオスズメバチに左肩を刺された。(ハチが飛び出してきたときに、躊躇してすぐには行動できなかった)。</p>			
事故処置	<p>誰が、どのように処置</p> <p>スタッフの一人が、すぐに、持ち歩いていたポイズンリムーバーを患部にあて使用した。そのまま車ですぐ近くの病院へ向かった。アナフィラキシーショックもないので、病院で塗り薬、飲み薬(1日分)をもらい、患部を冷やすように指示されたので、コンビニで氷を購入し、しばらくの間冷やした。18日(水)には、まだ赤く腫れていて、ちょっと気になるので、皮膚科を受診。腫れがひくまで薬を服用した方がよいと、1週間分処方された。</p>			
	<p>ケガの部位・症状</p> <p>左肩 赤く腫れて、痛みがあった。</p>			
	<p>推定原因と再発防止策は(分かる範囲で記入下さい)</p> <p>スズメバチの巣の場所の確認はできていないが、たぶん、土の中にあつたのではないかと考えられる。子どもがバタバタと走った振動で、ハチが驚いて飛び出してきたと考えられる。また、コース一部の下見がきちんとできていなかったのも原因の一つだと考えられる。(5日前に調査で歩いていたコースもあったが、途中で一部変更した)</p> <p>今後コースの下見をきっちりと行うこと。観察中は静かに歩くことを参加者に伝える。しかし、観察会前に危険な生きものやその対応について話していたので、事故後の参加者は落ち着いて観察会を続けることができた。</p>			
総務部 コメント				